

第52回沼津市芸術祭 写真展審査結果報告

◇ 写真展

	作品点数	
	デジタル部門	アナログ部門
無鑑査作品	3点	—
一般公募作品	17点	7点
合計	20点	7点

◇ 審査員 NAKANO yasuhiro(メディアアーティスト)
芸術祭賞1点、市長賞1点、教育長賞1点、市民賞2点(アナログ・デジタル各部門1点)

賞	題名	氏名	住所
芸術祭賞	黄昏	西川 寿子	沼津市新沢田町
市長賞	朝陽を浴びて	鈴木 順一	沼津市原
教育長賞	夏の終わり	前田 勝	駿東郡長泉町下土狩

第52回沼津市芸術祭「写真展」審査員講評

芸術祭賞 『黄昏』

千本浜にて犬の散歩をされている方を撮影した1シーン。
手前に映り込むボケと奥に展開する海、それらを照らし出す美しい夕日の演出が、人物、犬のゆっくりとした時間を引き立たせ、まるで人が持つ記憶のように、人、自然、土地を連想させる作品になっています。

市長賞 『朝陽を浴びて』

突然現れた鹿を捉えた作品。
事象の偶発性と美しい朝日という状況の偶然性が重なった作品。
朝日で光る草だけでなく奥の山と手前の水溜りも構図を飽きさせる事なく、水溜りの横のゴミ？らしきものは、さりげなく動物だけでなく人の営みも感じさせる全体的に広がりを感じさせる作品です。

教育長賞 『夏の終わり』

夏の草木が一生懸命生きている姿を日常の1シーンとして切り取った作品。
構図と対象物のバランスから哲学的なものを感じます。
奥にある縦と横に広がる構造物のラインと手前にある白いラインが有機物である植物とは対照的に存在しており、何かこの世界のあり方を示しているかのような作品です。

◇ 市民投票結果

投票数：アナログ部門 145票
デジタル部門 141票

○ アナログ部門市民賞：市民投票最上位

作品名：影まで美味そう
作者：内田 昇一
獲得票数：40票

○ デジタル部門市民賞：市民投票最上位

作品名：狩野川棧敷
作者：原 淳一
獲得票数：22票